



# 相模原白門会 会報

第10号  
創立10周年記念特別号  
—相模原支部—

発行所 中央大学学会相模原白門会  
(相模原支部) 事務局  
中澤社会保険労務士事務所内  
〒252-0239  
神奈川県相模原市中央区中央3-7-1  
TEL 042-860-2622  
印刷所 株式会社 日相印刷/日相出版

相模原白門会が創立10周年を迎えました。  
設立当時、駅伝の応援に行ったり、バーベキューをしたりなど、中央大学のOB・OGの親睦を深めていました。そして、相模原白門会として、市民さくらまつりに参加し、橋本の七夕に中央大学の竿飾りを出し、河川の清掃に参加する等の中で、中央大学相模原白門会として地域の中で役割を担い、地域に貢献したいという思いが高まってきました。  
10周年事業では、地域に向けて、相模原市そして相模原市民が応援

するテーマで記念講演会・音楽会を開催したいと思い、JAXAのご協力により困難を克服して地球に帰還したはやぶさ2のお話を、津田雄一はやぶさ2プロジェクトマネージャーからお伺いし、相模原音楽家連盟の皆さんに宇宙のコンサートをお願いしました。中央大学からは、酒井正三郎前総長学長に「中央大学―知の新時代の実学教育へ」と題し、お話を伺います。  
令和5年度は、新しい10年のスタートの年。中央大学相模原白門会では、新しい10年を地域とともに歩んでいきたいと思えます。



相模原白門会 会長 昭和49年卒

## 創立10周年 ご挨拶 新しい10年に向けて 会長 村上博由

ここに、当会(支部)創立10周年という節目の年を無事に迎えることができましたことに、設立及び草創期に格別なご尽力をいただいた先輩方皆様に心より感謝申し上げますとともに、これまで、会の運営や様々な事業にも関わってくださった会員皆様のお気持ちとご協力に、心から感謝の意を表したいと存じます。  
同じ『同窓の士』による学会支部でも、同期の会や職域白門会など目的が分かりやすい支部に比べて、当会のような「地域白門会」には、組織運営や事業展開に難しい面がある中で、様々な形で苦勞を重ねながら親睦・交歓を続けて来られた先輩方の思いの上に、今の「相模原白門会」があります。  
今後は、その財産を大事にしなから、更に、大学、現役学生の役に立つ取り組み、また、地域白門会ならではの、少しでも「地元相模原」に貢献できる事業などに取り組んで、更に周年を重ねていけるよう努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



相模原白門会 副会長 昭和55年卒

## ご挨拶 副会長 笹野章央

今後、更に会員を増やし、人との繋がりを増大させ、白門会活動と地域との関係を創造し、広がりのある活動を模索していきませんか! また、若い力による発想力と活力は次世代に向けた大切で必要な要素であります。多くの会員が集い魅力を感じ、一人一人が楽しくそして、地域社会に溶け込んだ次の10年を刻んでいければと思います。  
今後、更に会員を増やし、人との繋がりを増大させ、白門会活動と地域との関係を創造し、広がりのある活動を模索していきませんか! また、若い力による発想力と活力は次世代に向けた大切で必要な要素であります。多くの会員が集い魅力を感じ、一人一人が楽しくそして、地域社会に溶け込んだ次の10年を刻んでいければと思います。



相模原白門会 幹事長 昭和50年卒

ご挨拶  
幹事長 篠宮 章  
会員の皆さんと共に10周年を迎えられた事は大変感慨深く、関わって頂いた多くの方へ感謝の気持ちです。個人的には準備委員会から丸11年間になります。思い起こせば3年前、白門会活動が根付き、これから地域と連携を持った活動を始めようとした矢先のコロナ感染症でした。「定着した活動を元に取り戻せるだろうか」と言う不安な思いの3年間でした。  
しかしながら、多くの会員はじめ他支部のOB、OG及び地域の皆さんと繋がりができ、当たり前だと思いついていた「人との繋がりは大きな財産で、今の屋台骨となっています。」  
今後、更に会員を増やし、人との繋がりを増大させ、白門会活動と地域との関係を創造し、広がりのある活動を模索していきませんか! また、若い力による発想力と活力は次世代に向けた大切で必要な要素であります。多くの会員が集い魅力を感じ、一人一人が楽しくそして、地域社会に溶け込んだ次の10年を刻んでいければと思います。

創立10周年 ご挨拶 ●……………● 佐々木勝洋

# 卒業生・在学生・地域社会に開かれた 学びの場を目指して



会長 長 菅名  
相模原白門会  
相模女子大学  
昭和44年卒

そこで、これからの相模原白門会は、「卒業生の交流と持続可能な学びの場」としての伝統的な役割の他に、「社会連携活動で様々な人と触れ合い、今社会が求めていることは何か、自分にできることは何かを考える主体的な学びの場」、「イノベーションの根幹をなす専門と他の分野と知的に交流させる学びの場」という新しい役割を担うことになるでしょう。

創立10周年、心から、お祝い申し上げます。また、今日まで果たしてきた社会的な役割を再認識し、「相模原市SDGs未来都市計画に参画しパートナーとして地域社会に貢献する」（会報第8号）という新たなビジョンの下でさらなる発展を遂げられることを期待します。



設立総会にて

|   |                          |
|---|--------------------------|
| <p>祝 中央大学学員会<br/>相模原白門会支部<br/>創立10周年おめでとうございます。</p> |                          |
| <p>横浜支部<br/>会長 小田原 真人</p>                           | <p>川崎支部<br/>会長 松木 茂夫</p> |
| <p>逗葉支部<br/>会長 荒井 金次</p>                            | <p>藤沢支部<br/>会長 片岡 久興</p> |

# 相模原白門会の10年とこれから

中央大学名誉教授  
前総長学長  
酒井正三郎



中央大学名誉教授  
前総長学長  
相模原白門会  
昭和48年卒

相模原白門会創立10周年、まことにめでとございます。

10年の時を閲し、会の今日ある発展を築いてこられた歴代の役員、会員の皆さまに心より経緯を表する次第です。

相模原白門会は、創立以来箱根駅伝応援など、さまざまな親睦行事を行なう一方で、市民さくらまつりや橋本七夕まつり、さらには境川クリーン作戦への参画など、地域貢献活動にも積極的に取り組んでこられました。そして、本会は、「2020年度SDGs 未来都市」に選ばれた相模原市の「SDGsパートナー」として、今後さらに市内の企業やNPOなど他の機関とともに、持続可能な社会の実現のために諸活動を展開することになります。

現在、中央大学学員会に集う251支部のうち地域支部は127あります。相模原白門会には、これからも県下10支部と連携しつつ、学員会支部全体のモデルとなるような創意・工夫をこらした多様な活動への取組みが期待されています。こうした会の活動をつうじて目ざすところは、会則に謳われておりますとおり「母校の興隆と発展」です。10周年を機に、会の発展、ひいては大学の発展に資するような活動が一層豊かに展開されますことを念じています



茅ヶ崎支部  
会長

刈間 昌仁

平塚支部  
会長

落合 重治

小田原支部  
会長

中村 恭博

大和支部  
会長

岡田 孝子

厚木支部  
会長

曾根 秀敏

# 相模原白門会設立までの思い出

松浦 靖



相模原白門会  
前副会長  
昭和43年卒

2010年頃から、43会(中央大学昭和43年卒)の友人(故人)と相模原白門会設立について話し合いを度々持ちました。彼とは何でも話し合える良き友達でした。2012年2月10日に地元の同窓が新年会を開催。彼に声をかけ私と二人で参加。すでに数十人のメンバーが集まり和気あいあいと和やかなムードでしたが、彼が先輩に不適切な言葉を発してしまい、一気に気まずい空気に。新年会は何とか終了しました。その後、同年4月10日に新年会での不法法を先輩に謝罪(ヘルグ相模原にて)し、9月14日に相模原白門会準備委員会を発足。毎月第2金曜日に開催することになりました。

地域支部認可の為に入会者学員会費(3万円入金者)100名が必要にな

り、駿河台の学員会事務所にはしばしば相談に行き、又県下合同白門会(特に藤沢白門会の会長他役員の皆様)に御指導頂き何とか体制は整いました。相模原白門会会長として相模女子大学専務理事(当時)の佐々木勝洋氏を迎えました。

2013年3月10日に相模原白門会設立総会(橋本駅近くのセレス相模原にて)を開催。来賓には、中央大学総長・学長の福原紀彦様、学員会副会長の吉田憲一様、幹事長の足立様、ゲストには吉田慎一郎様(元日本テレビアナウンサー)、田中雅美様(元シドニーオリンピック400Mメドレーリレー銅メダリスト)、その他県下合同白門会より多数参加いただき、懇親会の司会進行は、吉田様に、田中様には、特別講演会(中大入学、シドニーオリンピック出場まで)をご担当いただきました。設立総会・懇親会は大いに盛り上がりました。

そして、2013年3月21日中央大学学員会幹事会が開かれ相模原白門会が承認、同年5月18日に相模原白門会支部旗授与、5月19日相模原白門会が始動し、おかげさまで今年10周年を迎えることができました。皆様には感謝申し上げます。

# 設立時の思い出

小島 明



相模原白門会  
昭和47年卒

10年前、大学OBの方数名(設立準備委員)の訪問を突然受け、相模原白門会支部への加入のお誘いを受けました。しかしながら大学を卒業以来40年間、大学OBとして何も関わりなく過ごしてきたこともあり、私自身、何ができるのか不安に思うことがありました。

当時は市内の団体、商工会議所・青年会議所・法人会・その他団体役員の殆どを退任していた時期でもあり、人生の後半を趣味のあう友人とともに楽しく暮らす方向にシフトしていました。そのような時期に相模原白門会設立時の加入勧誘があり、加入目的は友人・遊び仲間作りが動機でした。大学OB・OG会(白門会各支部)は現在の居住地の会員により構成されており、高校時代の同年齢・

地元地域出身の強い繋がりのある同窓会組織とは違い、全国各地出身者の集まりが魅力と感じています。

設立後10年、会員拡大・会員維持・事業参加率の向上などの課題に善処していく必要もありますが、現在の事業内容はボランティア活動・懇親事業などの拡大もあり、ますます発展する方向に期待が持てます。



# 相模原白門会支部に見る箱根駅伝

中澤 洋



相模原白門会  
昭和42年卒

中央大学と言えば箱根駅伝、私の長女が在学中に三連覇を成し遂げてから25年以上たち、現在活躍する他大学駅伝部の監督を中央大学が多数輩出しています。

この大学駅伝の応援は、在学中はもとより、卒業後も共通課題として脈打っており、相模原白門会支部も例外ではありません。

中でも、地元出身の安藤和次郎様は支部結成前から、毎年茅ヶ崎海岸に繰り出し応援の基礎を築いてまいりました。

今年こそその希望に燃えて、応援旗とタオルを巻いて「頑張れ」の声援に拍手、目の前を通過するのはほんの数分に過ぎませんが、この引き締まった雰囲気緊張の一時が過ぎ去ってゆきます。

江の島の海と遠くに富士山を仰ぎ見

ながら選手を送り出し、締めくくりは懇親会です。  
これも茅ヶ崎湾で採れる魚の料理は酒の肴にもってこいです。  
相模原白門会支部結成後数年間は駅伝の予選会出場のケースが続きましたが、ここに来て本来の姿を取り戻しつつあり、今後が楽しみです。



# ボウリング大会&懇親会の思い出

本間 俊三



相模原白門会  
昭和44年卒

最近ではあまり聞かれないスポーツになった。

私たちの年代で、若いころに一度もこれに触れなかったという人はいないと思う。連れ立って長い行列に並んだり、マイボールを求めたりと、まつわる思い出はきりが無い。

見渡すと、あちらこちらの屋根や屋上にピンが上がっていた。いつの間にかチームが去り、頭の中からも消え去ろうとしている。

ボウリングは、上手は上手なりに、下手は下手なりにハンディを付けて楽しむことができる。その点ゴルフに似ている。

小さな子供がボールを両手で持って転がす。するとボールはゴロゴロと音を立てて溝の中を転がって消えていく。

我が白門会相模原支部では、懇親会の前にそれをやることになった。JR町田駅南口で五十年も営業している「町田ボウリングセンター」(\*)において。ホテル併設も好都合である。  
心地よい疲労と笑い声の絶えない楽しい懇親会となった。



\*町田ボウリングセンターは令和3年8月に閉館となりました。



# ゴルフで広がる仲間の輪

富岡克昭

## 楽しいプレーで健康増進

相模原白門会がスタートしてすぐに「会員の親睦をはかり個々の健康を維持・増進するためにもゴルフ同好会をつくろう」という提案があり、早速十名程で行動しコンペを開催した。

好評であり以後不定期ながら活動は続いている。地域との結びつきでは市の商工会議所主催のコンペや県下白門会合同コンペ(相模原支部も相模原ゴルフ倶楽部で開催経験)への参加や母校中大ゴルフ部後援友の会・白門関連として南甲倶楽部有志の会、白門ライオンズクラブ・43会ゴルフ同好会等多くの会に参加し親睦の輪は広がっている。



相模原白門会  
昭和43年卒

加えて支配人が白門の仲間であるレイク相模ゴルフクラブの石井氏やゴルフ関連企業の社長河野氏の協力を頂き多くの会への紹介や参加も続けている。プレーを通じて後輩から頂くエネルギーや新知識、先輩から学ぶ人生・経験やその他：まさにゴルフで広がる仲間の輪と楽しいプレーで健康増進です。大きな白門会の輪をさらに広げて人生を楽しみましょう。



# 母校応援活動

松田清治



相模原白門会  
副幹事長  
平成22年卒

中央大学学員会相模原白門会の会としての『母校応援活動』は、記録によれば、『コロナ禍』の影響がなかった2018年から2020年1月まで、夫々、箱根駅伝の予選会と本戦の応援であった。予選会は立川市の陸上自衛隊立川駐屯地をスタートとし、国営昭和記念公園をフィニッシュとするハーフマラソンコースで行われている。

応援場所は、昭和記念公園内のゴールに近いところに陣取った。相模原白門会の幟旗を掲げ、選手が通過する度に中央

大の小旗を振り、頑張れの声援を送った。本戦の応援は第3区、茅ヶ崎で予選会と同様に相模原白門会の幟旗を掲げたの応援であった。応援者は予選会が56人、本戦が約20人で、応援後の新年会で会員相互の親睦を深めた。

2023年1月第99回、箱根駅伝大会で『総合準優勝』した中央大は、『古豪・名門、中央大復活』と健闘を讃えられ、今後の活躍が注目されている。第35回、出雲駅伝「10月9日(月)スポーツの日」、第55回、全日本大学選抜駅伝「11月5日(日)」での初優勝と第100回、箱根駅伝で15回目の優勝を果たせば、三冠を成し遂げることになる。関係者はその可能性もあると予想している。復活、好調、勢いのある中央大の駅伝チームへ是非、会員皆様の熱い応援をお願いします。

三冠を目指して！頑張れ中央大！

# BBQで和気あいあい

## 木藤 良子



相模原白門会  
昭和44年卒

夏が来ると胸が騒ぐ。相模原白門会恒例のBBQ大会があるからだ。ここ3年間はコロナ禍で中止していたが今年は開催出来そうだ。

私が初めてBBQに参加した時、何故か分からないけど豚汁係に任命された。それから毎年豚汁係。白門会の役員として他にはあまり能力のない私の一番の出番である。

ある時は火力がなくて野菜に火が通らず、やつと食べごろになった時にはタイムリミットで退場する羽目になってしまった。そこにちょうど会場の次の利用者のヤングガールズがやってきたものだから、この汗と涙の結晶の豚汁を男

どもがデレデレの笑顔と共に鍋ごと彼女達に上げてしまった。またある時はお代わり、お代わりで足りなくなり、少しだけ薄めたりもした。

汗だくで豚汁を作っていると、隣の鉄板でこれまた汗だくで焼かれた肉や野菜が届く。

暑い日に冷たいビールとこうばしい肉や野菜、それにこの体に良さそうな熱い豚汁が何故か合うんだな、と思っていると夏が終わる。



# 夏の思い出(白門会のBBQ)

## 井上万里那



2016年



2017年

相模原白門会 会員  
平成6年卒  
井上大輔さんご息女

相模原白門会10周年、おめでとうございます。10年前という私はまだ小学生だったんだと少々驚きの事実でした(笑)。白門会のBBQは子ども時代の夏の恒例行事となっていました。最初は父から「BBQに行こう」と言われ事情も分からずついていったものの、参加者の多くは父よりも年配(失礼!)の方たちで、同年代の子がいなくて心細かったのですが、周りの方から優しい声をかけてくださりホッとした記憶があります。BBQのお手伝いをさせて頂く中で、火の起こし方や食材を入れるタイミング等いろいろなことを教えてくださり、多くのことを学ぶことができました。アットホームな雰囲気の中で、多くの方々と関わり、更には美味しいお肉も頂けるなど

貴重な体験をさせて頂きまして感謝しております。最後になりましたが皆様の御健康をお祈りいたします。(※追伸:お酒が飲める年齢になりましたので、次回は一杯頂ければ幸いです!笑)



2018年



2019年

# これからどうなる ホームカミングデー

犬飼隆仁



相模原白門会  
平成17年卒



毎年秋に開催されている学員が交流を深める祭典、中央大学ホームカミングデー（第25回…2017年）に相模原白門会として初出店しました。このイベントは毎回有名な方を招いての座談会や学生の活動発表などがあり、相模原白門会としては模擬店を出店し、ビールやおつまみ等を販売しました。当日は、天候にも恵まれ、模擬店にもたくさんの方の学員のみなさんが立ち寄ってくださり、ギリギリ黒字にて運営を行うことができました。

この2年間はオンラインでの開催となっており、今年の開催がどのような形態となるかはまだ分かりませんが、卒業後に大学を訪れる機会もなかなかないかと思えますので、ホームカミングデーに参加してみたいかがでしょうか。

# 一年の計は 相模原白門会にあり

小田貴久



相模原白門会  
平成19年卒

恒例となった新年会には、先輩諸兄をはじめと多くの同窓生が参加しています。

コロナ禍こそ開催が見送られた年があったものの、新年会で相模原支部の皆さんに会わなければ一年が始まりません。

「元気に頑張っているか」「今年の駅伝は強かったな」。和やかな雰囲気の中で開催されています。

余興のビンゴ大会では、豪華な賞品が並びます。こうしたゲームを通じて、異世代交流も活発に行っています。

若い皆さんの頑張りを、地域の先輩方で支えてあげられることは、相模原白門会の強みであると感じていますし、私自身もこれまで幾度も助けていただきました。

皆さんの前に元気な姿をお見せすることが、毎年の私のモチベーションとなっています。

# 橋本七夕まつりと 相模原白門会

江成藤吉郎



相模原白門会  
昭和62年卒

「橋本七夕まつり」を預かっている江成です。近年、リニア新幹線新駅決定などで何かと話題の街、ここ橋本で昭和27年（1952年）戦後復興の行事として始まった七夕まつりでしたが令和2年（2020年）より三年間はコロナ禍で中止を余儀なくされてしまいました。しかし、お陰様で今年、4年ぶりに8月4、5、6日に再開することが決まりました。他方、相模原白門会との関わりは立ち上げ時の小田貴久県議（当時は市議）の声かけからになります。当初は数人で集まり会の方向性を決める話し合いを繰り返しました。そんな日々が続いた後に篠宮先輩（現幹事長）に相談したところ会に尽力してくれるとの心強い言葉を頂きました。篠宮先輩が会の運営を取り仕切ってくれたおかげで私は広報活動に専念できるように七夕まつりでは竹飾りコンクールに入選したり、また、所属団体への宣伝を事あるごとにできるようにしました。早いものであれから10年、会の体制も大分整ってきたところであります。これもこの会を支えて来てくださったスタッフのお陰であると思っております。深く感謝いたします。さて、10年を無事迎えた「相模原白門会」これからは、より地域密着なフットワークの軽い会になっていったら良いのではと思います。七夕で言えば、まつり期間中に白門会ブースを出したり、竹飾りを2本、3本と多く掲出する試み等々です。最後に10年を越え益々発展し行く「相模原白門会」の10周年本当におめでとございます。



# 10年間の思い出

## 設立総会



## 設立懇親会



## 駅伝応援



## 新年会



## ボウリング大会



### 総会・講演会・懇親会



### 創立5周年記念



### 落語会



### 地域活動



### バーベキュー大会



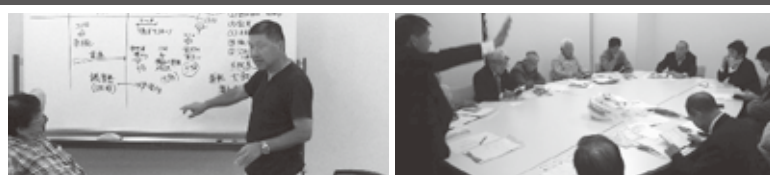
### ホームカミングデー



### ゴルフ大会、麻雀大会、歓迎会など



### 役員会



# 中央大学 相模原白門会を応援します！

暮らしの電気から工場の電気まで  
デンキを見つめるホンマです。

エコアクション21認証取得  
株式会社 **ホンマ電機**  
取締役会長 本間 俊三

**デンキのことなら何でも！**  
TEL.042-746-1616  
〒252-0302  
神奈川県相模原市南区上鶴間1-12-1  
TEL 042-746-1616代/FAX 042-747-3463  
ホームページ <http://honma-denki.jp/>

業務用食器・調理器具専門

**有限会社 小島陶器**

相模原市中央区上溝5-1-21  
Tel 042-761-5168 / FAX 042-762-0337

■取扱商品■  
陶磁器、硝子器、ステンレス、鉄器、プラスチック、漆器、木製品、テーブル、椅子、ユニフォーム、料理道具、調理器具

手造りハム ソーセージ

**CRUYFF**  
SAGAMIHARA

有限会社 **杉山精肉店**

相模原市中央区上溝1482  
電話 042-769-5076

楽天ランキングベーコン部門  
1位 獲得

橋本

第71回令和5年8月4・5・6日

**七夕**

橋本七夕まつり実行委員会  
事務局  
相模原市緑区橋本6-19-12  
グランツェン205号  
TEL 042-772-2543  
FAX 042-703-5554  
実行委員長  
江成 藤吉郎

日本生命グループ

**LIFE PLAZA PARTNERS** 株式会社ライフプラザパートナーズ  
立川F A営業部

日本損害保険協会認定 損害保険トータルプランナー  
ファイナンシャル  
アドバイザー **篠宮 章**  
Akira Shinomiya

〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-12-24 エム・ケー立川南ビル4F  
携帯 090-9643-5702 TEL 042-521-6270 FAX 042-521-6271  
E-mail a.shinomiya@lifeplaza.co.jp URL <https://www.lifeplaza.co.jp>

就業規則、給与計算、助成金、社会保険導入対応等

**中澤社会保険労務士事務所**

相模原市中央区中央3-7-1  
Tel 042-860-2622

特 徴

- 1 トラブルを予防しつつ人件費を削減。実績500社以上！
- 2 豊富な専門知識とノウハウを生かしてアドバイス

社会福祉法人 **三光会**  
特別養護老人ホーム **大野北誠心園**

地域との繋がりを育み  
誰からも愛される  
施設を目指して

〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺5-24-13  
TEL(042)758-7733  
FAX(042)758-7737  
<http://www.sankokai.com>

予防  
整体  
施術院

院長  
田中 淳平

〒194-0012  
東京都町田市金森5-13-8  
電話 042-795-8778

QRコード

LINE公式  
アカウント  
はじめました！

**株式会社三宝ゴルフ**  
ゴルフ会員権売買

代表取締役 **河野 信之**  
Nobuyuki Kono

〒182-0006  
東京都調布市西つつじヶ丘3-15-30  
電話 (042) 446-5432  
FAX (042) 481-8236  
E-mail ko108nobuyu-ki@ezweb.ne.jp

SDGsな  
出版サービス

日相出版の自費出版は

ソフト  
カバー  
本

寄贈・PR・記念用等に  
必要部数のみ  
出版するだけ！

＋ 在庫が切れたら、注文後、1冊から製造する

ペーパー  
バック  
本

POD出版サイトで  
費用不要で半永久的に  
出版・販売ができる！

**NISSO**  
Publishing  
042-748-6020

この会報 第10号 (創立10周年記念特別号) は、広告協賛金で制作されております。

# 新規会員募集

※是非、ご紹介もお願いします。

入会は、①公式ホームページまたは②FAXにてお申込ください。

## ①公式ホームページ



<https://nisso.sakura.ne.jp/hakumon/> にアクセス

もしくは  で検索

## ②FAX



お手数ですが、一度、042-860-2622 までお電話でお問合せください。



相模原から世代を越えて、お互いに親睦をはかり、  
母校を盛上げ、地域を活性させましょう！

中央大学相模原白門会のホームページを是非ご活用ください



TOP画面から最新のお知らせやイベント・会議報告など随時発信していきます！

最新の情報をFacebookでも発信します。

### <主なメニュー>

- ①最新情報
- ②入会申込み
- ③会 則
- ④事業報告
  - 事業計画
  - 前年度決算書
  - 予算書
- ⑤組織・役員
- ⑥トピックス (アーカイブ)
  - イベント・会議等
  - お知らせ
- ⑦会 報 (アーカイブ)

スマホからも見やすい！



<https://nisso.sakura.ne.jp/hakumon/>

- ①【募集中】  
ホームページやfacebookで会員の皆様に常に最新の情報等をお届けするために、ホームページやFacebookの運営などの広報活動にご協力いただけるメンバーを募集しております。
- ②【お願い】  
住所、電話番号、メールアドレス等の変更が発生する場合はメールかFAXでご連絡ください。
- ①・②とも  
keita@print-nisso.comにメール または 042-748-6126 までFAXでご連絡をお願いいたします。

私が相模原白門会に入会したのが創立から3年目の2015年でした。箱根駅伝の応援、新年会・ボウリング大会、ゴルフコンペ、総会・懇親会、BBQ、ホームカミングデイ、麻雀大会、運動部、落語の応援等、気が付けば1年のもくを同窓の皆さんと過ごす機会が多くなっており、自分の居場所の1つになっておりました。今回、会報特別号を編集するにあたり、楽しい思い出がよみがえってきました。これから、また、新しい思い出を同窓の皆様と笑顔で創っていくことを楽しみにしております。

### 編集後記

相模原白門会  
副会長 平成6年卒  
荒井慶太